

男女共同参画に関する 啓発について

令和2年度 第1回岩見沢市男女共同参画実践プラン推進委員会
令和2年7月27日(月)18:00～

1 市で実施している主な啓発

1 市民フォーラム

- 男女共同参画週間（6/23～29）中に開催
- 平成15年度から実施
- 内容は男女共同参画に関する講演



2 ステップアップ講座

- 毎年9月から10月に開催、全5回講座
- 平成20年度から女性限定で実施
- 平成29年度から受講対象を男性にも拡大し、開催時間を午前から夜間に変更



3 情報誌「ア・ライク」発行

- 年1回3月発行、4,300部印刷
- 町会回覧、関係団体に送付、市施設に配架



4 街頭啓発

- 男女共同参画週間（6/23～29）や女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせた啓発を実施
- 商業施設前でのチラシ配布やパネル展を実施

2 LGBTについて

1 これまでの実績について

ステップアップ講座 (H30)

小中学校での出前講座 (R1:小学校1校、中学校1校)

市職員研修 (R1~)

街頭啓発で緑陵高校生作成チラシを配布 (R1)

市民フォーラム (R2) ※新型コロナウイルス感染防止のため延期

市民向けセミナー (R2)

教育大生が作成した教材



緑陵生が作成したチラシ

性の三要素

- 身体的性: 出生時の性別
- 自認する性: 自分の性をどのように認識しているか
- 好きになる性: どんな性別の人を好きになるか

性の三要素とは?

- L: レズビアン (女性同性愛者)
- G: ゲイ (男性同性愛者)
- B: バイセクシュアル (両性愛者)
- T: トランスジェンダー (心と体の性が一致しない)

LGBTとは

L: レズビアン (女性同性愛者) G: ゲイ (男性同性愛者) B: バイセクシュアル (両性愛者) T: トランスジェンダー (心と体の性が一致しない)

性的マイノリティ (少数者) のことを表す言葉として使われ、各単語の頭文字を組み合わせた表現。

SOGIとは

セクシュアルオリエンテーション&ジェンダーアイデンティティ Sexual Orientation (性的指向), Gender Identity (性自認) の頭文字をとった言葉。LGBTは4つの性のあい方を表すのに対して、SOGIはすべての人にあてはまる。

11人に1人の割合!

※高校生のアンケート調査 2015年

性別	割合
男性	11.9%
女性	10.1%
その他	78.0%

※北海道教育大学岩見沢校 2015年

性的マイノリティを理髪し、尊重する。

自分がLGBTだと打ち明けられれば、同じに言い回しや行動 (アウティング) をしない。

「オカマ」「ホモ」「レス」などの差別の言葉は使わない、など...

2 LGBTについて

2 グループ討議でいただいたご意見

学校教育で知識に触れる機会を作る

- 小・中・高校の各段階に応じた教育が必要

大人への周知・研修機会の充実

- 教員、親の理解を深める ⇒ 職場で受けられる研修

市広報・市ホームページの活用

- 広報いわみざわ、市のホームページに特集記事等を掲載

パンフレットを作成

- LGBTに関するパンフレットを作成し、広く配布

図書館を活用

- 特集コーナーを作り、関連図書を配架

3 DVについて

1 これまでの実績について

コミュニケーションスキル講座

ステップアップ講座 3回 (H22、H30、R1)

DV防止啓発リーフレット作成 (H25～)

街頭啓発での配布 (H29～)

商業店舗に配架協力依頼 (H30～)

DV啓発防止
リーフレット



パープルリボン無料配布・パネル展 (H29～)

※パープルリボンは女性に対する暴力をなくす運動のシンボル



市広報特集記事11月号 (H29～)

市ホームページ (R2～)

人権擁護委員によるデートDV出前講座

(R1：中学3校、大学1校、保護者団体1団体)

※高校は新型コロナウイルス感染症防止のため中止

3 DVについて

2 グループ討議でいただいたご意見

子どもへの教育～早期に行うことが重要

- 自分以外の人にも人権があるという教育
- 早期から学ぶことで被害者にも加害者にもならない
- すべての小中学校で実施が望ましい

大人への研修の充実

- 人権やアンガーマネジメント等について学ぶ機会
- 働く人が受けられるように職場での研修機会の充実

啓発全般足りていない

- 何度も、いろいろな場所で、いろいろな人に対して行う
- あらゆる人に対して研修機会の充実を

4 農業分野について

1 これまでの実績について

農業分野に関する講座

ステップアップ講座 4回（H20、H22、H23、H25）

※うち、3回は女性農業者が講師

女性農業者の取組紹介

情報誌 2回（H19、H23）

JAいわみざわ地域農業振興センターの女性農業者研修

農業講座「アグリ女子」（初級編、中級編）

女性のネットワークいわみざわ主催講演会

女性農業者による講演 2回（H29、R1）

4 農業分野について

2 グループ討議でいただいたご意見

男女ともに積極的に参加して知識を増やす

- ICT、スマート農業などに関する知識
- 直売所・加工品の販売のための知識
- 女性も経営に関する知識を習得することが大切

農業と家事の両立への啓発

- 若い世代は取り組んでいる～親世代への啓発
- 自分の時間を確保するためにも役割分担が大切
- 家族経営協定で役割分担や目標を明確に

農家の情報発信～魅力を伝える

- 「男が主、女が従」はまだ残っているけれど、変わりつつある現状や魅力を広く伝える

5 雇用分野について

1 これまでの実績について

ワーク・ライフ・バランス

市民フォーラム 2回 (H19、H21)

情報誌 2回 (H19、H23)

女性活躍推進法

情報誌 1回 (H27)

女性の起業、就業等

ステップアップ講座 4回 (H23、H26、H28、R1)

子育て総合支援センター主催

父親の育児参加促進事業「パパといっしょ」(H22～)

岩見沢市通年雇用促進協議会主催

経営者向けセミナー「働き方改革」準備できていますか？(R1)

5 雇用分野について

2 グループ討議でいただいたご意見

幹部・リーダーになるための研修

- ・女性リーダーを育成して、女性活躍推進を

経営者・管理職への意識改革

- ・意識は変化してきているが、まだまだ理解促進が必要

ワーク・ライフ・バランス推進を企業に働きかける

- ・推進している企業をPRしてイメージアップにつなげる

企業に向けた各種施策・制度のPR

- ・各種制度等への理解が企業側にも必要

男性の意識改革

- ・育休取得促進などには、男性自身の意識改革が必要

4 グループ討議を受けて

1 問題点

啓発全般足りていない

- 何度も、いろいろな場所で、いろいろな人に対して行う
- あらゆる人に対して研修機会の充実を



フォーラムや講座の参加者が固定的

- 女性、50～70代が多い⇒ 周知方法が固定化されていた
- 男女共同参画全般を啓発していた ⇒ 対象や目的の明確化が必要

若年層や男性には届いていない

- 子ども向けには行っていなかった
- 20～30代の参加がほぼない
- 男性の参加もあるが60代以上が多く、現役世代が少ない

4 グループ討議を受けて

2 今後の方向性

啓発全般足りていない

- ・ 何度も、いろいろな場所で、いろいろな人に対して行う
- ・ あらゆる人に対して研修機会の充実を



子どもに対する啓発の強化

- ・ 学校、人権擁護委員協議会との連携
- ・ 出前講座メニューの充実（デートDV、LGBT、男女共同参画）

大人に対する啓発の強化

- ・ 市内各種団体との連携（各種イベントの参加依頼、出前講座の受入れ）
- ・ 対象や目的を明確にした事業の実施

全体に対する啓発の強化

- ・ 情報誌、市広報、市ホームページの活用と充実

5 今回のグループ討議

今後の方向性についてご意見をいただきたい

- ・ これまでの問題点（弱点）
- ・ 改善ポイント
- ・ 自分の団体で可能な連携

- ① 付箋に書く（職員がホワイトボードに貼る）
(10分)
- ② それぞれについてまとめる（10分）
- ③ 全体での意見交換（15分）